

## 第1回情報共有基盤推進委員会 議事概要

### 1. 日時・場所

2013年9月25日(水) 15:00~17:00

経済産業省本館 17階 第2特別会議室

### 2. 委員等

#### 委員長

須藤 修 東京大学 大学院 情報学環・学際情報学府学環長・学府長

#### 委員

武田 英明 共通語彙基盤ワーキンググループ 委員長  
国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 教授

#### (橋田委員代理)

西野 文人 一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA) 知識情報処理技術専門委員会  
委員  
株式会社富士通研究所ソフトウェアシステム研究所 専任研究員

林 史典 文字情報基盤ワーキンググループ 委員長  
聖徳大学/聖徳大学短期大学部文学部文学科 教授 人文学部長/人文学部日本  
文化学科長

伏見 諭 一般社団法人情報サービス産業協会(JISA) 技術強化委員会 標準化部会長  
合同会社ソフデラ 代表

(委員 50音順)

#### オブザーバ

内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室  
総務省 行政管理局  
内閣官房社会保障改革担当室(欠席)

#### 事務局

和田 恭 経済産業省 情報プロジェクト室 室長  
宮里 孝則 経済産業省 情報プロジェクト室 室長補佐  
平本 健二 経済産業省 CIO 補佐官  
田代 秀一 独立行政法人情報処理推進機構 国際標準推進センター長

### 3. 議事概要

#### 3.1. 開会挨拶、自己紹介

和田経済産業省情報プロジェクト室長より開会挨拶のあと、参加者からの自己紹介を行った。

#### 3.2. 事業背景と説明

##### 3.2.1. 今年度の検討体制について

資料2に基づき、閣議決定、工程表における共通語彙基盤事業の位置付け、検討体制及び今後のスケジュールについて説明。

##### 3.2.2. 共通語彙基盤に関するこれまでの検討及び、今後のプロジェクトについて

資料3に基づき、昨年度経済産業省が実施した調査研究結果及び、その後の進展について説明。その後、今年度より開始予定の情報連携用語彙データベースおよび関係ツールに係るプロジェクトについて説明。

##### 3.2.3. 文字情報基盤事業の進捗状況について

資料4に基づき、文字情報基盤事業について、閣議決定、工程表における文字情報基盤の位置付け、国際標準化の推進状況、文字情報基盤導入ガイドの方針案等について説明。

#### 3.3. 質疑・応答

- 共通語彙基盤、文字情報基盤は、共にオープンデータ活用、電子行政サービスの向上のための重要な基盤であり、閣議決定にも示されているところ。関係省庁との連携をとりながら、バランスよく進めてゆく必要がある。非常に意義のある会議なので、委員、オブザーバの皆様の活発な議論を期待したい（委員長）。
- 共通語彙基盤について、いつ、誰が、どのように活用するのか。  
⇒今回のプロジェクトでは、地方自治体等で小規模な試用を開始しつつ、中央省庁での活用を想定した語彙データベースの概念整理と、コアとなる語彙の整備を進める。地方等で実績を示しつつ、中央でもコア分野から活用を進めてゆく計画である。
- 意味の定義には様々な手法があると思われるが、共通語彙基盤の構築にあたってはどのようなアプローチをとるのか。  
⇒オントロジーの考え方を取り入れつつ、行政で用いられる用語をトップダウン的に整理することを基本と考えている。
- 共通語彙基盤の目的は、辞書的なものを作るというよりは、標準的なデータ型を定義することが主となると考えて良いか。  
⇒そういった基本的定義から始めてセマンティックの部分まで徐々に広げてゆくアプローチが良いと考えている。
- 語彙の整備は、電子行政の効率化には極めて重要だ。しかし、いくら整備しても、それが実際に行政の現場で使われていかななくては意味がない。そのためには、関係

する省庁の現場の人に積極的に検討に加わっていただくことが重要。ぜひご協力をお願いしたい(委員長)。

- 文字情報基盤で扱っているそれぞれの文字の利用状況を、分野ごとに明らかにすることはできないか。

⇒過去、自治体で独自に作られた文字に関する調査が総務省で実施されており、文字の利用でなく作成に関するデータは存在する。利用状況については情報がない。ご指摘のとおり、実際の利用頻度の統計があれば有用と考える。

- 閣議決定で文字情報基盤の原則活用が述べられているが、まだ具体的な導入手順は示されていない。きちんとしたガイドをまとめることは大変重要である。番号法の改正もあり、政府で統一した方針を打ち出し、文字情報基盤事業を推し進めていく良い機会である。関係省庁にはご協力をぜひお願いしたい(委員長)。

#### 3.4. 閉会

和田室長より閉会の挨拶。次回は2014年2月または3月頃に開催予定。

以上